

**東京書籍教科書 検討の観点と内容の特色**

<b>書名</b>	情報Ⅱ	<b>教番</b>	2 東書・情Ⅱ 701
-----------	-----	-----------	-------------

項目	観 点	内容の特色
内容の選択・程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 学習指導要領の教科の目標を達成するために必要な教材が適切に用意されているか。</li> <li>* 基礎的・基本的事項の理解や習得のための適切な配慮がなされているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報教育の3つの目標である「情報活用の実践力」「情報の科学的な理解」「情報社会に参画する態度」を習得するため、座学と実習がバランスよく配置されている。</li> <li>○比較的短い時間で実施できる実習を多数用意し、これまでに培った情報活用能力を確認・定着させるための配慮が随所に見られる。</li> </ul>
組織・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 内容の組織・配列は、学習指導を有効に進められるように考慮されているか。</li> <li>* 分量は学習指導を有効に進められるように考慮され、精選されているか。</li> <li>* 情報Ⅰとの接続に対する配慮がなされているか。</li> <li>* 弾力的な取り扱いに対する配慮がなされているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報Ⅱの学習を実習編、理論編、活用編に分け、実習編と理論編は学習指導要領の項目に沿って配列し、活用編は探究活動に役立つ内容をまとめて掲載している。</li> <li>○理論編は16項に厳選され、学習を効率的に進めることができるよう配慮されている。</li> <li>○「情報Ⅰの振り返り」のページを用意し、情報Ⅰと円滑な接続ができるように配慮している。</li> <li>○本文と章末資料の関連する箇所にリンクマークが付され、立体的に学習できるように構成されている。</li> </ul>
表記・表現及び指導に対する工夫や配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 学習意欲を高めるための配慮がなされているか。</li> <li>* 用語、記号の取り上げ方や記述の仕方は適切か。</li> <li>* 生徒の自学自習への配慮や工夫がなされているか。</li> <li>* 指導書や周辺教材での工夫や配慮がなされているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平易な文章で分かりやすく、丁寧な記述となっている。</li> <li>○用語、記号は統一されており、記述の仕方も適切である。</li> <li>○巻末の索引・用語集には多数の用語が取り上げられており、生徒が自ら学び、自ら考える力の育成に有効である。</li> <li>○さまざまな分野で学習の役に立つ内容は、活用編と資料編にまとめて掲載し、生徒が随時参照できるように配慮されている。</li> <li>○教科書を支援する指導書やデジタルコンテンツ、周辺教材、Web サイトなどが充実しており、指導しやすい教科書である。</li> </ul>
印刷・造本上の配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 印刷の鮮明さ、活字の大きさ、行間、製本などは適切か。</li> <li>* 環境保全や生徒の多様な特性に配慮が</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○活字は鮮明で美しく、写真、挿絵も鮮明で効果的である。製本も堅牢である。</li> <li>○再生紙・植物油インキを使用し、環境保全に配慮している。文字や図の色遣いでは、カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮している。</li> </ul>

項目	観点	内容の特色
	なされているか。	
総合所見	* 上記観点からみた、全体的・総合的な当教科書の特徴	○情報教育の系統性を重視し、必要とされる知識が無理なく身につくよう、工夫と配慮がなされている。情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を育成することのできる教科書である。